

シンポジウム

神戸大学人間発達環境学研究科

学術weeks 2024



インドとイランの打弦楽器を比較する —サントゥールを事例に—

2024年10月15日(火) 15時10分～
神戸大学鶴甲第二キャンパス C棟111教室
予約不要

(主旨)

打弦楽器とは、台形の共鳴胴の上に張り巡らされた多数の弦を撥で打つ楽器です。本シンポジウムでは、インドとイランのサントゥールと対象として、その類似性と差異性を民族音楽学的観点から探ります。打弦であることとその楽器構造ゆえのディスプレイアドバンテージと、そうした立場を克服するための関係者の試行錯誤などに焦点をあて、両文化における同楽器の過去・現在の位置付けと、今後の展開を議論する場とします。

開会挨拶 谷正人 (本学准教授)、宮本夏実 (修士2年)

演奏①イラン：谷正人 (サントゥール), Yazdanmehr Razi (トンバク)

演奏②インド：新井孝弘 (サントゥール), 藤澤ばやん (タブラ)

全体討論・質疑応答

閉会

新井孝弘

ドラマーとして数々のバンドでの活動を経たのち、2005年より宮下節雄氏にサントゥールを師事。2007年よりインドに渡り、世界最高のサントゥール奏者シヴ・クマール・シャルマ氏に師事。2009年よりインド国内でデビュー、コンサート活動を開始。ムンバイ、パポール、チェンナイなどインド各地で公演を続けている。現在もムンバイに在住。

藤澤ばやん

京都生まれ滋賀在住のタブラ/打楽器奏者。2002年、日本在住のインド人タブラ奏者ディネーシュ・チャドラ氏との出会いをきっかけにタブラの世界へ。関西を中心に活動しながら、インド芸能振興イベントの企画なども行っている。民族楽器コイズミにて月2回初心者向けタブラ教室開講中。

Yazdanmehr Razi

6歳でAlireza Kaveri師のもとでトンバクを始め、バフマン・ラジャビの学校で学ぶ。その後も、モハンマド・ヤズダン・パナやサデグ・シャリアティなどの師からトンバクを学び、ナヴィッド・アフガのワークショップ・トレーニングを受講。シャヴァラクやヤズダン・パナのグループと何度も共演。

問い合わせ：谷正人 (神戸大学人間発達環境学研究科准教授) tanimasato@people.kobe-u.ac.jp

主催：神戸大学人間発達環境学研究科 学術WEEKS2024